

2025年4月3日

## 日本呼吸療法医学会用語集 第3版 パブリックコメントに対する委員会の回答

一般社団法人 日本呼吸療法医学会  
用語集改訂委員会委員長 大塚 将秀

期間中に、いくつかのコメントをお寄せいただきました。用語集委員会案を検討していたいたみなさま、そして投稿していただいたみなさま、ありがとうございました。

以下に、パブリックコメントに基づいて委員会で再検討した結果をお知らせします。

まず、日本医学会作成の用語集との整合性についてご指摘をいただきました。

日本医学会の分科会が作成する用語集は、日本医学会作成の用語集に倣うことが指示されています。本会は日本医学会の分科会ではありませんが、混乱防止のため他団体作成の用語集との整合性にも留意することを改訂方針として掲げているため、再検討いたしました。

その結果、分科会であっても日本医学会作成の用語集の推奨語と齟齬がある語があることがわかりました。その一因として、日本医学会の用語集第3版は2007年の発表であり、20年近く経過していることが挙げられます。分科会からの修正要望を随時受け入れており、小改訂も行われているようですが、すべてには対応できていないものと考えられます。とくに、専門性が特別に高い用語と、逆に非常に一般的な用語が目立つように感じました。

以上のことから、多くは日本医学会の用語集との整合性を取りましたが、一部は他の専門団体の用語集に合わせたものもあります。

その他、ご指摘いただいた点については、ご提案のとおり修正させていただきました。

今後は、理事会での審議・承認の後に確定版とし、ホームページ上に掲載の予定です。

なお、第2版と同様のPDF形式の他、英語・日本語・略語からの検索機能を付加したアプリケーション開発も計画中です。